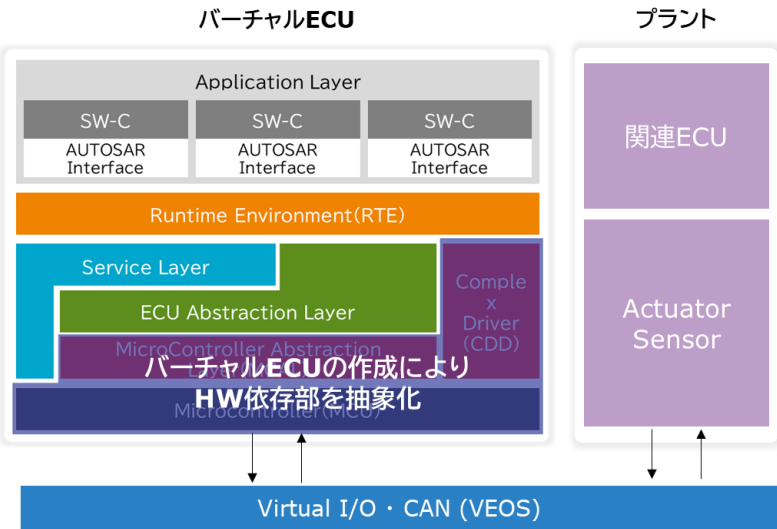


バーチャルECU環境構築サービス

バーチャルECUによる効率性の高い開発プロセス


バーチャルECUとは

バーチャルECUはアプリケーションとHW非依存のBSWで構成される仮想的なECUです。MILSでは難しい、BSWを用いたタスク制御、CAN、故障診断通信の制御アプリの検証が可能です。



バーチャルECUの作成に必要な開発資産

- ・制御モデルまたはソースコード
- ・通信定義ファイル(.dbc、.ldc)
- ・アーキテクチャ、パラメータ定義ファイル(.arxml)※
- ・BSWソースコード※
(弊社 QINeS-BSWも組み込み可能)



※オプション(検証内容によっては必要)

バーチャルECUの利用シーン

バーチャルECUを活用することで、車載ソフトウェア開発における様々な問題を解決できます。



AUTOSARのスムーズな導入

既存のソフトウェアアーキテクチャからAUTOSARへの移行時には、AUTOSARの専門的な知識が必要となります。既存アプリケーションとQINeS-BSWを用いてバーチャルECUを作成することで、AUTOSARを利用した車載ソフトウェア開発環境を簡単に実現することができます。



大規模開発の効率化

大規模な開発のHILS検証では、多くのECU基板を作成して関係者に配布する必要があり、基板の作成に時間とコストを要します。検証内容に応じて実基板の代わりにバーチャルECUを用いることで、ECU基板作成のための待機時間がない、低コストな検証が可能になります。



HILS検証のフロントローディング

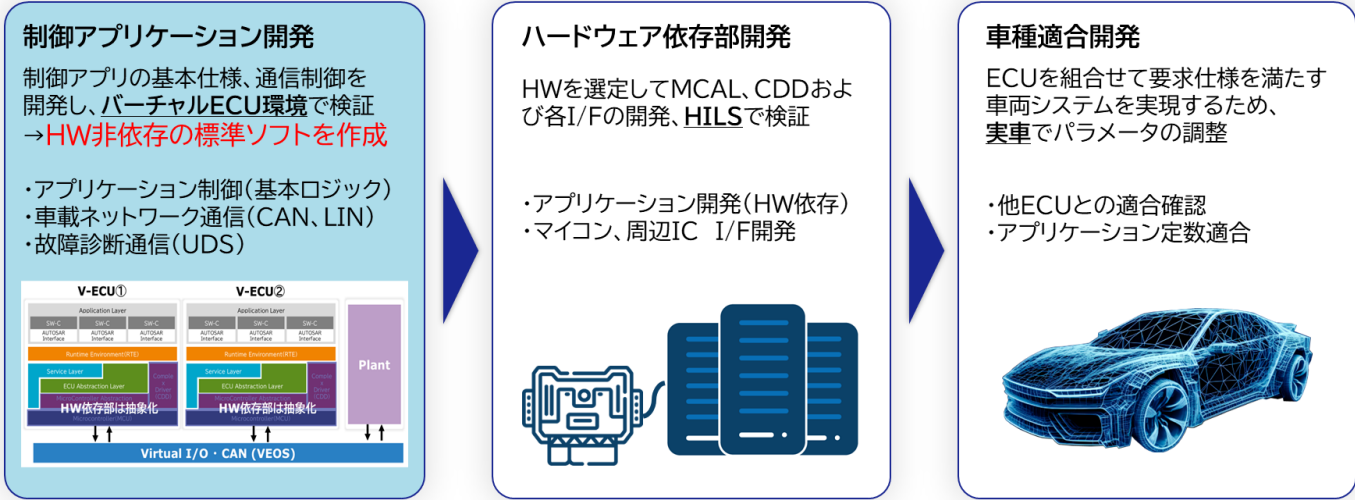
HILS検証ではECU基板の手配に要し、早期に検証が始められないケースがあります。バーチャルECU環境の構築により、HW非依存のソフトウェアはHILSを用いずに先行して検証できます。このように、HILS検証の一部をフロントローディングすることで、開発期間の短縮が可能になります。



バーチャルECUによる開発プロセス改善

バーチャルECU環境で車載ソフトウェアのHW依存部と非依存部を分離することで、既存開発のソフトウェア資産の流用性を向上させることができます。

【ソフトウェアの再利用性を高めた開発プロセス例】



バーチャルECU環境構築サービス

量産ECUの開発経験、BSWベンダーとしてのノウハウを活用してお客様のソフトウェア開発の課題を解決するバーチャルECU環境を構築します。

【サービス利用時の流れ(一例)】



※掲載されている製品/サービス名称、社名、ロゴマークなどは該当する各社の商標または登録商標です。

SCSK カスタマーセンター
(SCSKの製品・サービスに関するお問い合わせ受付窓口)

 **0800-500-4000 (無料)**

受付時間／月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、当社指定日を除く)
※携帯電話でのお問い合わせ TEL:03-6670-2990

本製品・サービスに関するお問い合わせは下記まで

URL : <https://www.qines.jp/>
E-mail : qines-info@scsk.jp

SCSK株式会社

www.scsk.jp/

豊洲本社

〒135-8110

東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント

TEL:03-5166-2500

千里オフィス

〒662-0978

大阪府豊中市新千里西町1-2-2 住友商事千里ビル

TEL:080-6933-5127